

SSKU ^{さん} ^{さん} ニューズ
 SunSun

^{へんしゅう}
編集 CILふちゅう

^{まるぜん}
CILふちゅう
VOL.10

〒183-0055 ^{とうきょうと ふ ちゅうし ふちゅうちよう} 東京都府中市府中町 2-20-13 ^{まるぜん} 丸善マンション1 F

TEL 042-314-2735

FAX 042-314-2736

E-MAIL cilfuchu@tt.rim.or.jp



これからの^{ふくし}福祉はととても^{きび}厳しく、^{たいへん}大変な^{じだい}時代を^{むか}迎えようとしている。
 どんどん、^{じぶん}自分らしさを^{おも}アピールしていけるようにしたいと思う。

2003.1.24

^{やまぐち}
山口かほる

かばも時ときには Oh! まじめ

後編こうへん～より しんちょうに～

僕ぼくが通かよっている所ところでは、毎月まいつき体重測定たいじゅうそくていがある。それは自分じぶんの健康けんこうチェックができるのであ
りがたい。が、毎年まいとし4月がつに身長しんちょうも測はかる。三十歳さんじゅうさいを過すぎて、身長しんちょうが伸のびることもないと思おもう。
去年きょねんの十一月じゅういちがつ頃ころから、電動でんどう車くるま椅子いすには乗のれるようになったが、まだ運うんてん転あぶは危あぶなっかしい。
本ほん当とうに良よくなつて来きたと、実感じっかんでき始はじめたのは、今ことし年としの4月がつ頃ころだつた。徐々じょじょにできる事ことが
増ふえて来きた。とんび座すわりができるようになった事ことをはじめ、布団ふとんを普ふつう通つうに敷しいて（それまでは、
椅子いすの様に布団ふとんを積つみ上げていた）寝ねられる様ようになった。一番いちばん、感か動どうしたのは、自じり力きで
起おきあがれた朝あさだ。でも、その後ごいつも以上いじょうに体からだが痛いたいと（やっぱりこれ以上いじょう良よくならないの
か）と疑心暗鬼ぎしんあんきになり、親おやに弱音よわねを吐はいた事こともあつたが、その時ときは親おやが強気つよきで又また、その反はん対たいの
時ときもあり、どうにかキーボードをたたけるまでになった。

ところで、僕ぼくの親おやはもうすぐ七十歳ななじゅうさいだ。だから毎年まいとし、健康診断けんこうしんだんに行いっている。「去年きょねんより
二センチ縮ちぢんだよ（身長しんちょう）」と病院びょういんから帰かえつて来きた。（そうか、身長しんちょうつて縮ちぢむこともあるん
だ）と思おもい、来年らいねんの身長測定しんちょうそくていで、僕ぼくの背せが縮ちぢんでいない事ことを願ねがっている。

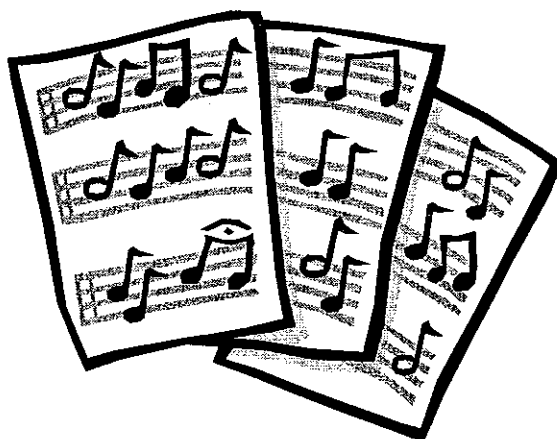
まだ、前まえのように無茶苦茶むちゃくちやはできないが、もうあんな経験けいけんはしたくないから、これからはよ
り慎重しんちょうに、一人暮らしひとりくらしを楽したのんでいこうと思おもっている。



ばんちょう こ と し

レコード新聞

12月の15日と翌年の1月15日に世田谷でポロ市が開催されました。その際にゲットしたレコードの一部をこの紙面を借りてご紹介します。12月はSP盤を12枚仕入れました。皆さんはご存知ないかもしれませんが、トミー・ドーシー楽団にエディス・ライトと言う女性ヴォーカリストをフィーチャーしたダンス・チューンや、大正時代の童謡などを仕入れました。私の懐古趣味は遠く中学時代からずっと続いているもので、今年でポロ市も20年以上、無論レコード目的で行っているものです。もう一つ私には目的があって、中学時代に手に入れることの出来なかった東芝レコード、と言っても60'sをメインに漁って、手に入れられたのは越路吹雪のジャケット付き、ガールズポップスの弘田三枝子はジャケ無しという悲惨な結果に終わったのですが、府中駅前レコード屋でも同じガールズポップのジャケット付きが時価5,000円と言う高値、手に入れられただけでもマシかなと思った日々でした。



やまもとけいちろう
山本恵一郎の

えい が ざん まい
映画三昧

とつぜん みな えいが み わたし わけ だいす
突然ですが皆さん、映画は見ますか？ 私はマニアという訳ではありませんが大好きでよく見ます。もっぱらビデオ派ですが。さいきんえいがかん い たちかわ
最近映画館には行ってませんが、立川のシネマシティは
かんない きゅう ぜんかんくるまいす
館内にもスロープ (ちょっと急 だけど) があって全館車椅子でアクセスできますよ。音もい
ぜ ひ
いし是非チェックしてみてください。

わけ きょう さいきん み えいが いんしょう のこ さくひん しょうかい
そんな訳で今日は最近見た映画で印象に残った作品を紹介します。

あた へい えら
アクションもなくてドキドキもしないけれど、じわーっと暖かくなる映画を選んでみました。
み ひと ため くわ か
まだ見てない人の為に詳しいストーリーは書かないでおきますね。

かんとく じつわ もと さくひん さい
デビットリンチ監督の「ストレイトストーリー」。実話を元にした作品らしいのですが、73歳の
ねんまえ けんかわか あに びょうき たお し き
じいさんが10年前に喧嘩別れた兄が病気で倒れたという知らせを聞いて、トラクターで5
とうきょう おおさかかん はな ところ す あに あ い
60km (東京—大阪間くらい) 離れた所に住む兄に会いに行くという、ただそれだけの
くさ たんたん み
まさにストレイトなストーリー。臭くなりがちなテーマですが、さらっと淡々と見せてくれま
よけい はい つよ うつく つた すば えいが
す。余計なものを排したシンプルな強さ、美しさがしみじみと伝わってくる素晴らしい映画だ
おも おんがく こうだい ふうけい ぜつみょう えいぞう
と思います。ゆったりとした音楽も、アメリカの広大な風景に絶妙にマッチして、映像と
おんがく じゅうぶんたの いや ねむ えいが
音楽だけでも十分楽しめるというか、癒されるというか眠れるというか、そんな映画です。
じっさいね ひと おお じそく わたし
実際寝てしまう人も多いみたいですが。このじいさんのトラクターは時速8キロ、ちなみに私
でんどうくるまいす じそく なん しんきんかん
の電動車椅子は時速6キロ。何となく親近感がわきます。

「**スモーク**」結構話題になったのですで見えた人も多いかもしれませんが、見ていない人は
 すぐ見ましょう。ニューヨークで小さなタバコ屋を営むハーベイ・カクテル扮するオヤジと、
 そこに集う常連客達のエピソード。

まず脚本がよくできていると思います。人間描写も繊細で生々しいというかそこに住む
 人々の生活感が伝わってきて、いつの間にか物語の中に引き込まれてしまいました。人間に
 は優しい部分と冷たく汚い部分があると思いますが、この映画では人間のずるくて嫌な所も
 ちゃんと描かれていて、すごくいい作品だと思います。ハーベイの演技や台詞の間も絶妙で、
 いい味出してます。この人は色々な映画に出ますが私はこの映画の中の彼が一番好きです。

ついでにもう一本。「**ハピネス**」。感動ものじゃないけど面白かったの。

タイトルは「ハピネス」ですが内容は全然ハッピーじゃありません、念のため。

パツとしない日常を描いたコメディ。えげつないシーンも沢山出てきますが、軽いタッチ？

で描かれていて思わず笑っちゃいます。モチーフはケビンスペイシーの「アメリカンビューティ
 ー」とかぶってますが、断然「ハピネス」のほうがお勧めですね。

人間ってほんとに面白い生き物ですよ。これらの映画を見ますます人間が好きになっ
 ちやいました。この他にも紹介したい作品が山程ありますが今回はこのへんで私のホームペ
 ージでも映画を紹介してますので暇があったら覗いてみて下さい。

やまもとけいいちろう
 山本恵一郎

ホームページアドレス <http://homepag2.nifty./keis-yard/>

しょうがいしゃ いしき へんか 障害者への意識の変化

CIL ふちゅうで介助をさせて頂き1年。当時、障害者は異人で、自分
 とかけ離れた存在の危険な人種なんだという思い込みと、映画制作への
 モチーフにという心が障害者への恐怖や興味をもたらし、介助者にと
 駆り立てる。

そんな僕が1年間、障害者の方々の介助を通して、1番大きく得たも
 のは障害者になる資格が生まれつきの人だけでなく、健常者にも
 兼ね備えられているという事。それを知った時、遠かった距離がぐんと
 縮まり、自分事として考える事ができた。異人という感覚も吹き飛び、
 障害者とのコミュニケーションのとり方を知らなかった自分の弱さが、
 危険な人種という思い込みを作っていたのかもしれない。

今まで僕が介助をさせて頂いた障害者の方々は、みんな孤独で生死
 をさまよう過酷な過去を持つ。しかし、屈折する事なく、強い心と
 生命力を必死にあぶり出し、生きていこうと自立生活をしている。そ
 んな彼らと触れていると、自分の苦悩など、砂糖を超える甘さであると
 勉強させられる。そんな甘い僕みたいな健常者達も今日には障害者
 になるかもしれない。それならば、障害者が地域で生活を安全に送れる
 対策を実行する必要性健常者にはある。

たし しょうがいしゃ ふ あ こと けんじょうしゃ かれ のぞ せかい
 確かに障害者と触れ合った事のない健全者には彼らが望む世界と
 せいかつ りかい けいけん こと ひと けいけん ひと いけん
 生活を理解できない。経験した事のない人は、経験している人の意見を
 そんちょう しせい だいじ がつ しこう しえんひ せいど
 尊重する姿勢が大事だ。4月から施行される支援費制度にしても
 しょうがいしゃ せいかつ し え ひとたち いっぽうてき おすす ぼく げんざい
 障害者の生活を知り得ない人達が一方向的に押し進めている。僕が現在
 かいじょ いただ しょうがいしゃ じかんかいじょ ひつよう ひと じょうげん
 介助させて頂いている障害者24時間介助の必要な人。それが上限4
 じかん がつ にちげんざい た こうせいろうどうしょう しこう
 時間(1月24日現在)でその他ボランティアで、という厚生労働省の思考
 のう はかい
 を脳ミソから破壊したい。

げんざいぼく こうしゅうじゅこう しゅう にちざいたくかいご いただ なか
 現在僕はヘルパー講習受講と、週1日在宅介護をさせて頂く中、
 はつかんとくさくひん なつ こうかい ひか せんでん じゅんび
 初監督作品『ロスト・パイ・デット』が夏に公開を控え、宣伝の準備に
 と か こんごえいが と つづ つづ
 取り掛かっています。今後映画も撮り続けますが、ヘルパーも続けます。
 しょうがいしゃ あんじゅうで き ひ く
 障害者が安住出来る日が来るまで・・・

つじおか まさと
辻岡 正人

あなたの町のバリアフリー！住宅改装・段差解消工事の事なら

大谷 建設

〒193-0814 東京都八王子市泉町682-1-5-102

TEL・FAX 0426-25-0373

携帯 090-5789-0948

ぼう ねん かい さん か

忘年会に参加して……。

しのはら まさき
篠原 真貴

2002年12月18日水曜日、「府中麦酒ステーション やきとり 戎」は数十人の介助者や数十台の車イスに乗った利用者でごった返していた。そう、ここでは我がCILふちゅうが主催するビッグイベント「年忘れ！忘年会！集まれ！オールスターズ！」が開催されていたのである。ワイワイ、ガヤガヤ。

この日、大学での「国際経済学」の試験を終えた篠原は、府中駅の改札をすり抜け、すでにスタートしている会場へと向かっていた。カバンの中にあるのはさっき受けた科目のノートの他に、女物の派手な衣裳、メイク落とし、そして、ピンクのリップスティック……。なぜだ、なぜ俺はこんな変態道具を持っているんだ……。！！

いや、つまりは俺が悪かったんだ、俺が。遡るは2週間前、「何か盛り上がる出し物ない？」というスタッフの提案に「あ、女装でもしますよー（笑）」と答えた俺が悪かったんだ……。場を和ます冗談だったのに。自分のバカ。。。

——早速コートや荷物を会場の端の方に置くと、気付いたら、女子トイレの鏡に真剣に向かっていた。
入念に洗顔した後、メイク担当の姉さんに指示を仰ぎながらローション、ファンデーション、アイシャドー、ビューラー、マスカラ、最後には口紅やグロス、チークまでも順序良く施していく。鏡には、みるみる美しく、そして気持ち悪く変わっていく自分の顔！そして「ぎゃはは、ぎゃははは！」と爆笑するメイク担当の姉さん！（できあがってる……）

「姉さん。口唇はこれで縁取りした方がいいかも。少しはみ出る感じで。お願いします。うわ、まゆげ太すぎ！酔ってるでしょ姉さん！ぎゃっ！うわー！」……数十分前、試験で「マジだりい。。。」と頭を抱えていた自分とはまるで別人の顔。みんなを笑わせるための「おもしろ本気メイク」が完成、そして満を持してドアから出た。

茶色のベルベットに「フリフリのレーススカート」で登場した自分はみんなの奇異な視線の中、
 大腿をひらいてビール瓶を一気！ 続いて鈴木代表のホッペに何度もチュウ！ 飛び交う悲鳴、い
 やがる代表！「やめなさい、やめなさい！」 「ぎゃはは！」 そのあとは「うふーん。あ
 っはーん♪ サービスするわよん。」 「あらヤダ、奥さん、アタシもよ☆」 「あなた少し
 笑い過ぎよ、あたくしをキレイとお言い！（笑）」 思いつく限りのお色気言葉を連発し、周囲
 の爆笑・引きつり笑いを誘いながらお酌して回りました。特におばさん お姉さんに引っ張りだ
 こでした。

中には「キミはホントに面白い！！ うちの娘をやる！」と言いだす方もいて。
 ——いや、どんな娘だか俺は知らないから！（笑）
 そして、お尻を触ってきて「この感じがいいんだよな～あ。」とニヤける方も。
 ——セクハラだろ、どう考えても！（笑）

カメラを向けられれば撮影会の開始。「だっちゅーのポーズ」や「へそ出しルック」（共に死んだ
 文化）「パンチラ」、「ふくらみほっぺ」、「肩を抱いてキス」等、普段の自分では絶対に有り得ない
 こと・絶対にしてはいけないことをしてきました。

以下、参加者の感想です。

「きゃはははは！！」「うはは！ あははははは！！（爆笑）」 「いる！！ こういうの立川
 にいる！（笑）」 「なんかね。目がエッチでヤバかった！」 「しのっち！ オカマバーで
 働きな！ 絶対ナンバー1になれるよ！」 「ふっはっは、はっはっは！！（引っくり返る）」
 引いたのがこれ。 「——本当に、オカマなんですか？（真顔で）」
 ただの出し物だっつーの！

あの悪夢の忘年会から数カ月後、俺はある利用者さんの介助に新しく入るため、その介助者の
 方と車で待ち合わせをした。向こうからやってくるサワヤカな男の子。 「やべっ！」と思っ
 た時には遅かった。

男の子「あ！ 多分一度どっかで会ったことありますよ！（キラリン）」

俺「えっと・・・（動揺）もしかして忘年会の時じゃないっすか？」

男の子「ああ！ あの時に女装してた、、、！」

——シラフで向き合う2人。 平静を装っている彼の目は明らかに笑っていた。

新しい利用者さん、介助者さんと顔を合わせる度「あー、あの時の女装の人！！（ププッ）」
と言われ続ける運命を、篠原はあの忘年会で背負ったのである。 サンサンと輝く太陽の日差し
を背中に受けながら、「若気の至りとはこういうことを言うのかなあ・・・。」と。1人でしみ
じみ思った篠原なのであります。 はあ。。（もうやらねえ）

本編には書きませんでした。忘年会は宴会芸タイムやプレゼントタイムなども含め、終始
和やかなムードで行なわれ、利用者同士、介助者同士、そして利用者と介助者が、ほろ酔い気分
で仲良くコミュニケーションを取っていました。普段は恥ずかしかったりキッカケがなかった
りして話し掛けられなかった方とも、年齢や性別、そして障害の壁を超えて会話することができ
たと思います。 こういう場は非常に大事だと思いますし、これからも大切にしていきたいと思
っています。

出し物をした側としては、参加者のみなさんの楽しそうな顔、うれしそうな顔が、何より胸に
グッときました。今までの疲れも一気に吹き飛びましたし、それ以上に元気を頂きました。そ
して次のイベントでもそういった「いい顔」を見たいな。と感じました。 これからも普段の介助
派遣サービスはもちろんのこと、より一層充実したイベントを開催していきたいと思っ
ています。最後に、ムチャな出し物にGOサインを出してくださった鈴木代表に心から御礼申し上げます。



げき しゃ ぼう ねん かい
激写！ 忘年会つ。



だい かい

しゅうちゅうこうざ かいさい

第二回ピアカウンセリング集中講座を開催して

CILふちゅうの第2回「ピア・カウンセリング集中講座」(11月15日～11月17日)を開催する事ができました。2回目という事で事務所のスタッフも講座の準備にも昨年より少し余裕を持って取り組め、参加者も東京近郊市の在住者ばかりでなく、遠く福岡や鳥取からの参加もあり、思った以上の反響でした。初めは皆緊張した面持ちでしたが、講座が進むにつれて緊張もほぐれ、初日は府中文化センターでの講座だったので、事務所の目の前という事もあり、講座終了後に事務所に参加者の数人の方が寄ってくれました。2日目は、リラックスした空間の中で、自分の気持ちを見つめる事や感情の解放、対等な関係でサポートしあう事の心地良さ等を体験し、夜の交流会では、介助者やスタッフも一緒にゲームやかくし芸等で楽しいひと時を過ごしました

参加者の方々からアンケートやご感想を送って頂きましたので、ご紹介します。

☆ 障害を持っているとどうしても感情、気持ちを出さない様にしたりして生活をしている中で、講座の間は安心して気持ちを吐き出せた事は、わかりやすく、理解できる様な話(説明?)を頂けたから、皆と話し合えたと思います。リーダーの進行は最高でした。

☆ 福岡と東京の違いが明確に解かりました。24時間介護保障を勝ち取る障害者の権利を肌身にしみました。障害者にとってピアカンの重要性が身にしみました。三日間ありがとうございました。

☆ 自分の為にセッションタイムをピアカンに出会って初めて活用できました。感情を解放する事の素晴らしさ、その後の不安定だった自分が何やら落ち着いていて不思議な感じでした。今後、多くのセッションをしたくなりました。

☆ 感情の解放、今まで抑えていたものを、吐き出せるものとして必要だと思った

☆ あまり人に褒められた事がなかったので褒められて良かったと思います。

以上、一部のご感想を紹介させて頂きましたがスタッフ一同、来年度以降も利用者の皆様にとってよりよい講座・イベントを開催していけるよう、ご意見ご感想に十分に耳を傾けながら、一層努力していきます。

CILふちゅう 職員・スタッフ一同

がつ はじ あたら しょうがいしゃせいど しえんひせいど
4月から始まる新しい障害者制度「支援費制度」では、

かいじょしゃ はけん
CILふちゅうは「介助者の派遣」ができません

ねん がつ じっし しえんひせいど ぜんしんせいしょうがいしゃかいごにんはけん
2003年4月から実施される支援費制度では、「全身性障害者介護人派遣サービス」と「ホームヘルプサービス」が統合されて、「居宅介護サービス」という一つの介護制度になります。この制度を利用して、介助を得るには、指定事業所（支援費制度の居宅介護事業所として、都道府県から指定を受けた事業所）と契約しなければなりません。2003年4月以後も、現在、働いている介助者に仕事を続けてもらうには、利用者（りようしゃ）と介助者の双方（かいじょしゃ）が、この指定事業所（していじぎょうしょ）と契約（けいやく）する必要があります。CILふちゅうは、指定事業所（していじぎょうしょ）にはなりません。

がついこう しゃかいふくしほうじんみきふくしかい ふちゅう
4月以降は、社会福祉法人幹福社会ケア府中で
かいじょしゃ はけん
「介助者の派遣」をします

しゃかいふくしほうじんみきふくしかい ふちゅう おな まるぜん
社会福祉法人幹福社会ケア府中は、CILふちゅうと同じ丸善ビル1Fにあります。CILふちゅうで働いていた障害当事者（はたら しょうがいとうじしゃ）、健全者職員（けんじょうしゃしよくいん）が専従（せんじゅう）または兼任（けんにん）で働いています。CILの理念（りねん）を基調（きちょう）にして、介助者（かいじょしゃ）の育成（いくせい）、サービス提供（ていきょう）をしています。こちらの団体（だんたい）で、東京都（とうきょうと）から居宅介護事業所（きょたくかいごじぎょうしょ）の指定（してい）を受けました。利用者（りようしゃ）と介助者（かいじょしゃ）の方々（かたがた）は、これまで（どうよう）と同様（え）のサービスを得（え）ていただくため、ケア府中（ふちゅう）との契約（けいやく）をお願い（ねが）申し上げます（もう あげます）。

CILふちゅうの今後の活動 こんご かつどう

CILふちゅうは、じりつせいかつ自立生活プログラム、そうだん じょうほうていきょう けんり相談・情報提供、けんり権利擁護活動等、しょうがい障害のある人自身、ひとじしんエンパワー（つよ強く、かし賢く、こころゆた心豊かになる）するための、かつどう ちから そそ活動に力を注いでいきます。CILふちゅうとケア府中は互いに連携し、きょうりよく あ おも しょうがいしゃ ひと たいとう そんちょう しゅたいてき せいかつ協力し合って、どんなに重い障害者も人として対等に尊重され、主体的な生活のできるちいきしゃかい じつげん地域社会の実現をめざし、ぜんりょく と く全力で取り組んでいきます。



●ケア府中と契約を希望される方

お問い合わせ ⇒ ケア府中

〒183-0055 とうきょうと ふちゅうしふちゅうちょう東京都府中市府中町2-20-13 まるぜん丸善マンション1F

TEL 042-314-2734

FAX 042-314-2736

ときえだ あつし ニュー ヨーク

い

時枝篤 N・Yへ行く!

いぜんから、^{かいがいりょこう}海外旅行、^{かいがい}海外のバリアフリーに^{かんしん}関心があり94年7月にアメリカ・ニューヨークに行ってきました。みなさんも^{きかい}機会があればいい^{しげき}刺激になるとおもいます。^{おも}僕自身もこれから^{いろいろ}色々なところに行きたいなあ〜^{おも}と思っています。

ときえだ あつし
時枝 篤



へんしゅうこうき 編集後記

今回無事にCILふちゆう SUNSUN ニュースを発行できて誠に嬉しく
協力して下さった利用者の皆さん、原稿書いて下さった皆さん、職員一同
感謝すると共に今後とも関わって下さる皆さんと手に手を取りあって、機関誌
運営をやっていきたいと思っておりますのでなにとぞ一つよろしくお願い致し
ます。

表紙ページのご紹介

今年の1月、国立の「ギャラリー悠」にて山口かほるさんの個展がありました。
山口さんは油絵を足で描き続け、過去に数々の賞を受賞し、新聞にも取り上げ
られてきました。いつも前向きで明るく、活発な生き方は周りの人間に勇気を与
え、地域の活力になっています。



）
行人

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砦 6-26-21 (定価百円)